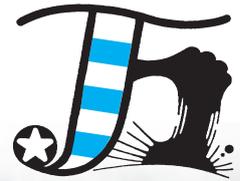




たしみず 市議会だより

ジョン万のふるさと土佐清水



第86号

2013年9月1日



6月定例会

- 6月定例会の概要…………… 2
人事案件
陣情について
- 議案の議決結果の一覧…………… 3
- 一般質問(要旨)…………… 4~13
- 委員長報告(抜粋)…………… 14
- 議会報告会の結果報告…………… 14~17

インターネット議会中継

本会議の様を生中継(ライブ)及び録画中継を配信中!!
ぜひご覧ください。[土佐清水市役所ホームページ [土佐清水市議会をクリック](#)]



6月定例会 の概要

住民基本条例・南海地震対策・

市政運営の姿勢等について質問

土佐清水市一般職員の給与に関する

条例の一部改正案を可決

6月定例会は6月25日から7月11日までの17日間の会期で行われ、初日には、市長から報告案件7件、議案6件、諮問1件が提案されましたが、特に急がれる案件として、諮問1件について先議を行い、採決の結果、同意いたしました。

一般質問は、7月1日から3日までの日程で行われ、10人の議員が住民基本条例や南海地震対策、市政運営の基本的な姿勢等についての質問を展開いたしました。最終日には、3月定例会で付託され、継続審査となっていた市議会議案第1号「土佐清水市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定に

ついて」及び今定例会で付託された、この議案について早急に結論を出してほしいとする陳情第1号は、市政の現状などを考慮することや議員間相互の意見集約のため全員協議会を開催するなど、さらに慎重な協議検討が必要との判断からいずれも継続審査としたほか、今定例会で付託された議案について、各常任委員会の審査結果の報告を行い、採決の結果、すべて原案のとおり可決または承認いたしました。

また、市長から追加提案のあった議案第41号「土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など

議案3件、同意案1件についても採決の結果、原案のとおり可決または同意し、閉会しました。

人事案件

- 人権擁護委員
● 浜田勝良 氏
- 教育委員会委員
● 弘田浩三 氏
(養老)新任

陳情について

6月定例会までに提出された下記の陳情は、議会運営委員会へ付託のうえ閉会中の継続審査として取り扱うこととなりました。

- 議員定数削減についての陳情

議案の議決結果

議 会	番 号	件 名	議決結果
6 月 定 例 会	報 告 第 3 号	専決処分した事件の承認について (平成24年度土佐清水市一般会計補正予算(第7号))	承認
	報 告 第 4 号	専決処分した事件の承認について (平成24年度土佐清水市介護保険特別会計補正予算(第4号))	承認
	報 告 第 5 号	専決処分した事件の承認について (平成25年度土佐清水市一般会計補正予算(第1号))	承認
	報 告 第 6 号	専決処分した事件の承認について (土佐清水市税賦課徴収条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
	報 告 第 7 号	専決処分した事件の承認について (土佐清水市国民健康保険税条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
	報 告 第 8 号	専決処分した事件の承認について (固定資産税の課税免除に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
	報 告 第 9 号	専決処分した事件の承認について(半島振興対策実施地域における固定資産税の不均一課税に関する条例の一部を改正する条例の制定について)	承認
	議 案 第 35 号	平成25年度土佐清水市一般会計補正予算(第2号)について	可決
	議 案 第 36 号	土佐清水市火災予防条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議 案 第 37 号	土佐清水市手数料条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議 案 第 38 号	土佐清水市立中学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議 案 第 39 号	土佐清水市立小学校設置条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議 案 第 40 号	財産の取得について	可決
	議 案 第 41 号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議 案 第 42 号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	議 案 第 43 号	土佐清水市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	可決
	諮 問 第 1 号	人権擁護委員の推薦につき意見を求めることについて	同意
	同 意 案 第 2 号	土佐清水市教育委員会委員の任命について	同意
市 議 会 議 案 第 1 号	土佐清水市議会議員定数条例の一部を改正する条例の制定について	継続審査	

賛否の分かれた議案等

番 号	件 名	矢野川周平	森一美	小川豊治	西原強志	永野裕夫	岡林喜男	永野修	岡崎宣男	瀧澤満	岡林守正	仲田強	井村敏雄	橋本敏男	武藤清	議決結果
議 案 第 41 号	土佐清水市一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	×	×	○	可決 (賛10、 反3)
議 案 第 42 号	土佐清水市長等の給与、旅費等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	○	×	○	可決 (賛11、 反2)
議 案 第 43 号	土佐清水市教育委員会教育長の給与等に関する条例の一部を改正する条例の制定について	○	○	○	○	○	×	○	○	○	議長	○	○	×	○	可決 (賛11、 反2)

1 市長の公約について

(質問)

土佐清水市の現状を若い力で

どのように変えていくのか

(市長)

市民の市政への参加意欲を高め、市民が積極的に行政に参加する仕組みをつくり、政策議論を交わしながら知恵を出し合い、汗を流すことで、この土佐清水市を市民とともに変えていく決意である。

(質問)

前市長の政策を否定するのか、

それとも継承していくのか

(市長)

前市長をはじめ、歴代の市長の政治にかける思いや優れた政策に学び、継承しながらも時代の流れの中で、改める点は改め変革していく、そういう姿勢での市政運営を心掛けていきたい。

(質問)

5つの政策テーマについて

内容を示せ

(市長)

①「子どもは宝」

子育て教育環境の充実はもとより、保育所の高台移転や小学校の早期改築に全力で取り組む。

②「若者は希望」

基幹産業である農林漁業・観光業の復興と若者の雇用対策に積極的に取り組む。

③「お年寄りは誇り」

高齢者の能力活用と生きがいづくりをはじめ、各地域の実情に応じて安心して暮らしていける仕組みづくりを進める。

④「命を守る」

南海地震に備え、市民の命を守るために専門の課を設置して集中的な対策を進める。

⑤「絆は力」

市民と市役所の絆を深め、活気あふれるまちづくりを目指し、市民の声を市政に活かす。

2 行政改革と

組織改革について

(質問)

行政改革及び組織改革を

実施する考えはあるか

(市長)

具体的な内容については、諮問機関である行政改革推進本部での議論を指示しているが、検討課題としては、公約との整合性を図りながら事務事業を見直しすることや組織機構の再編成と合理化、給与等の適正化、定数管理の適正化、民間委託・公共施設の管理運営、経費削減等、財政健全化計画などが挙げられる。

あわせて、より具体的な実施項目、実施期間などを明確にした行政改革集中プランを作成したうえで、スムーズに行政改革を推進したいと考えている。

3 高齢者福祉について

(質問)

高齢者に対する支援体制に

ついて問う

(市長)

現在行っている福祉サービスを今後も推進するとともに高齢者の皆様が安心して暮らしていけるように「地域の支え合い」が深まる仕組みづくりに努めていく。



しおさいに入居している高齢者



小学生の子どもたち

矢野川 周平 議員

1 雇用対策等について

(質問)

公約である基幹産業の復興と

雇用創出に向けた取り組みは

(答弁)

集落営農の推進や市内産木材の住宅補助制度の創設、有害鳥獣対策の強化、魚価安定を目的とした基金の創設、宗田節加工業の振興に取り組み、漁業・農林業・観光をミックスさせることで若者の雇用の場を確保したい。

(質問)

雇用の場を確保するために、ビール工場や焼酎工場を誘致することや第三セクターにより新規事業を展開することについて検討してはどうか

(答弁)

本市は、リキュール特区の認定を受け、地元産のフルーツを原料としたリキュールの開発から製造商品化に向けた取り組みを行っている。

これらの状況を見ながらビールや焼酎についても検討したい。

(質問)

災害に備えるため、長期間保存できる水や食料を開発してはどうか

(答弁)

今後、全国的に需要が拡大することは確実で、本市の防災対策のみならず、防災関連製品の地産地消・外商も見込まれるため今後検討したい。

2 市有林の状況等について

(質問)

宿毛市では木質バイオマス発電が行われ、幡多郡の山林の活用が見込まれる。このことをどのように考えているか

(答弁)

予定では11万トンのチップ材が必要とのことであり、今後の木材関連事業に大きな価値が出ると考える。

(質問)

市有林は市民の貴重な財産だ。土佐清水市有林管理条例の制定に向けてどのように考えているか

(答弁)

先進地の事例を見ながら協議、検討する。

3 防災行政について

(質問)

災害等に対する「備え」について、どのように考えているか

(答弁)

市民参加の訓練を繰り返し行うことが各種災害に対応できる「備え」と考えている。

4 住民基本条例について

(質問)

公約の中に、住民基本条例を制定するところがあるが、どのような計画か

(答弁)

市民と市役所の絆を深め、活気あふれるまちづくりを目指しており、そのためには住民自治の仕組みづくりや市民参加の推進、市民との協働、広聴機能の強化が必要だと認識している。

今後、具体的な計画や手法、スケジュールを検討していくが、市民の多様な意見をできるだけ反映し、市民と行政が目的を共有できる土佐清水ビジョンをつくっていきたい。

気になる用語

木質バイオマス発電

木材、樹皮、木屑などの木質材料を燃やしてタービンを回し発電する仕組み。

住民基本条例

地域課題の対応やまちづくりを誰がどんな役割を担い、どのような方法で決めていくか、自治体の仕組みの基本ルールを定めた条例。



職場体験で消防訓練を行う高校生

1 市長の夢と現実

(質問)

あなたの夢は？現実を

どのように認識しているか

(市長)

「夢を語ろう、明日を築こう」と呼びかけ、選挙を戦った結果、市民の皆様への多くの支援をいただいた。

今後、市長として市民の福祉や生活を向上させることが私の夢である。

一方、公約の実現には数多くの課題もあるが、スピード感を持ってできるものから対応していく。具体的には、喫緊の課題である南海トラフ巨大地震・津波対策をはじめ、農林漁業・観光業の復興と若者の雇用対策等について全職員で問題点や課題を共有し、目的意識を持って進んでいきたい。

2 市の債務状況

(質問)

市の債務状況について

(企画財政課長)

平成24年度末における起債残高は、146億円余りで前年度よりも約10億円増えている。

また、平成25年度末には、さらに約4億5,000万円増えて約151億5,000万円になると見込んでいる。

今後も南海地震・津波対策や清水第三土地区画整理事業といった大型事業の実施が残されており、厳しい財政運営が強いられる。

起債償還額のピークは、平成28年度で約17億2,700万円と試算しているが、財源確保に努め、庁内経費のさらなる削減、既存事業や恒常的な補助金の見直しなど歳入に見合った歳出の削減を推進すべきと考えている。

3 農業振興策について

(質問)

農業支援隊もしくは

農業公社の設立を

(産業振興課長)

近年、市内農家の実働人員が激減

していることに加え、高齢化もかなり進んでいる。

このため、市としては集落営農組織の設立支援の取り組みを進めているが、設立が見込まれない地域等にあつては、今後各関係機関と連携を図り、農業委託の要望などを把握のうえ、対応策について検討したい。

4 休校校舎等の有効活用

(質問)

休校中の学校施設の

利活用について

(学校教育課長)

養老小学校が福祉施設として利用されているほか、最近では、布小の場として使用したいといった相談があり、計画書が提出されれば廃校の手続きを行うことになる。

地域にある施設なので、地元の方を中心に利用していただくことがベストであると考えている。

気になる用語

起債…「借金」である地方債を自治体が発行すること。将来必要になる施設や道路などの建設の財源として調達される。

清水第三土地区画整理事業…平成2年度に国土交通省より事業計画決定を受け実施。当初施行区域面積61.8haから実施計画を変更し、現計画区域は36.5haとなっている。



福祉施設「あんきな家」として利用されている旧養老小学校

1 市政運営の基本的な姿勢について

〔質問〕
市政運営の基本的な考え方は

〔市長〕

健全財政を基本に限られた財源の中で、特に南海地震対策や基幹産業の振興、雇用の拡大などに重点を置き効果的な予算執行に努めたい。

〔質問〕

基幹産業の振興に向けた

具体的施策は

〔市長〕

農業は、担い手の育成と集落営農の推進を図る。

林業は、市内産木材を使用した住宅補助制度の創設や木質バイオマス発電への活用に取り組む。

漁業は、魚価の安定を目的とした基金の創設や宗田節加工工業の振興などを図る。

観光は、商品企画の開発や他の産業と連携しながら振興を図りたい。

〔質問〕
過疎化、高齢化対策への取り組みは

〔市長〕

本市の人口は平成47年には1万人を割り込むと推計されており、その対策として基幹産業の振興と雇用の場の確保が必要であるほか、限界集落といわれる地区においては移動手段を確保することや県が推進する事業も具体的に展開したい。

〔質問〕

清水小の改築に向けた

取り組み状況は

〔市長〕

地盤の嵩上げの研究や他の小学校との統合、学校給食の実施といった問題が山積している。

今後、さらに津波対策として大型事業も数多くあるため、財政面も含め総合的な判断が必要である。

また、現段階での概算工費は約19億600万円を見込んでおり、技術的にも厳しい計画であるが、南海地震対策の一環でもあり鋭意努力していきたい。

2 南海地震対策について

〔質問〕
避難道の整備状況について

〔総務課長〕

避難道は250箇所を指定している。平成16年度から平成24年度までに81箇所が整備済である。

現在、146箇所について要望があり、今後計画的に整備を進める。

また、夜間の避難対策として、太陽光発電式の避難誘導灯を平成24年度末までに19基設置しており、平成25年度は15基を設置する予定で平成26年度以降も順次整備する。

〔質問〕

避難場所と非常用食料品の

備蓄状況は

〔総務課長〕

約250箇所の避難場所がある。非常用食料品は平成23年度より購入しており、平成25年度からは毎年4,100食を購入する予定である。

〔質問〕

危機管理、防災対策課の設置は

〔市長〕

9月議会に提案し、11月までに課を設置したいと考えている。

気になる用語

健全財政… 一般には歳入・歳出が釣り合っており赤字がない財政（均衡財政）をいうが、厳密には公債・借入金で歳入が補われていない財政をいう。

集落営農… 集落を単位として、生産行程の全部又は一部について共同で取り組む組織。

危機管理… 大地震などの自然災害や、不測の事態に迅速・的確に対処できるよう、事前に準備しておく諸政策。



市消防庁舎に保管している非常用食料品

1 遍路道の整備と
観光振興について

問う

(質問) 四国遍路が本市の観光振興に与える経済的効果について、どのように考えるか

(市長)

聞き取り調査によれば、本市を訪れるお遍路さんは年間10万人、12万人となっている。

仮に10万人として試算すると、約7億2,000万円の消費額となり、本市における観光振興及び経済効果に大きく寄与していると考えられる。

(質問)

38番札所(金剛福寺)から39番札所(延光寺)へ向かうルートにおける危険箇所の実態把握について

(生涯学習課長)

ルートとしては、真念庵打戻ルートや下川口下切ルートなど6ルートがあるが、そのうち真念庵打戻ルートの中で伊予駄馬付近など7箇所危険な箇所について現在把握している。

(質問)

危険箇所の整備を図れ

(産業基盤課長)

危険箇所は、市道・農道・里道(赤道)がほとんどであると認識している。

今後、地元での聞き取りや現地を確認するなど対応を検討してまいりたい。

(質問)

お遍路さん専用のマップを民宿や休憩所等に配布し、活用してもらったらどうか

(産業振興課長)

来年は四国霊場88箇所ご開創1200年にあたるため、お遍路さんも増加すると思われる。マップ作成については、関係機関等と検討を行う。

(質問)

国道321号上にある市内のトンネルが暗い。明るくする対策を図れ

(まちづくり対策課長)

県土木清水事務所によると、平成25年度から照明灯更新設計委託業務(片粕、歯朶ノ浦、貝ノ川トン

ネル)を発注しており、平成26年度からは新規照明器具に更新することである。

2 西部地区の
漁業振興を図れ

(質問)

大津地区においては、トコブシ(流れ子)が年々減少している。

この原因を調査したうえで放流を行ったらどうか

(産業振興課長)

減少の原因としては、藻類相の変遷やトコブシのすみかとなる転石域岩礁域に対する適度な攪乱が無くなったこと等が考えられる。

また、トコブシ類の放流は現在、アワビのみとなっており実施にあたっては土佐清水市栽培漁業推進協議会に対し毎年要望調査を行い、要望があれば翌年度に実施している。

(質問)

西部地区の漁業振興を図れ

(市長)

漁業振興のみならず、地元の皆様と意見交換する中で具体的な振興策について検討したい。



金剛福寺を訪れるお遍路さん

気になる用語

四国遍路道... 四国霊場において霊場間を繋ぎ、巡礼者(「お遍路」)が歩く道のこと。

里道(赤道)... 道路法の適用のない法定外公共物である道路のこと。

一般質問

西原 強志 議員

1 市長選挙公約について

ついて

(質問)

基幹産業の推進について

(市長)

集落営農組織確立の推進や市内産木材を使用した住宅補助制度の創設、木質バイオマス発電での利用材活用を図るほか、魚価安定基金の創設や宗田節加工業の振興、観光基盤の整備及び広域観光の対策などを推進する。

(質問)

雇用対策の推進について

(市長)

観光産業を戦略産業と位置付け、他の基幹産業と連携し経済効果を高める。

また、その経済波及効果のすそ野を広げること、交流人口がもたらす効果をサービス業である飲食店や二次産業である加工業者、さらには一次産業である農林漁業へ波及させ、各産業の底上げを図りながら雇用拡大に繋げたい。

(質問)

職員採用試験の公正化と

透明化について

(市長)

第三者を加えた選考委員の構成と採用人数や合格基準を事前に公表することを検討するほか、作文・人物試験の自身や採点基準の再構築、試験結果の開示内容を拡大することなどにより採用試験制度の見直し及び選考過程の透明化を図りたい。

(質問)

総合窓口の新設について

(市長)

来客数が一番多い市民課を市役所玄関正面に配置し、各種証明書の発行業務を一元化することにより窓口環境を改善し、市民の利便性の向上を図りたい。

2 南海トラフ

地震対策について

(質問)

高台移転支援制度の

創設について

(市長)

支援制度の基本的な考え方として、清水第三土地区画整理事業の保留地や土地開発公社の所有地などを対象に津波浸水域に居住する市民が高台に移転する場合に支援する制度を想定している。

(質問)

清水小学校改築に向けた

取り組みについて

(学校教育課長)

今年度、耐力度調査を実施し、その結果を受けて平成26年度に基本設計及び実施設計と併せて仮設校舎の建設や旧校舎等の解体を行い、平成27年度から平成28年度末にかけて建設工事を予定している。

3 市役所庁舎前の

駐車スペースの

確保について

(質問)

庁舎前の駐車場の確保と美化・

清掃について

(市長)

来客用の駐車場の確保は、住民サービスの基本であり、訪れる皆さんに迷惑をかけない対応を心掛けていきたい。

また、庁舎前の美化・清掃についても、来庁される市民の皆さんが不快感を持つことのないよう環境整備に努めたい。

気になる用語

保留地… 土地区画整理事業施行の費用に充当するため、区画整理後の土地の一部を換地として定めず第三者に売却する予定の区画整理区域内の土地のこと。

耐力度調査… 老朽化した建物に対して、建物の構造耐力、経過年数、立地条件などを総合的に調査し、老朽化の度合いを判定するもの。



土佐清水市役所

1 市長の公約内容に

ついて問う

(質問)

教育環境の充実として、清水保育園・清水小学校の改築を挙げているが、それ以外の保育園や小学校はどうなるのか

(市長)

清水保育園と清水小学校の改築がスケジュールに挙がっているので早期改築に全力で取り組む。他の保育園・小学校についても高台移転を含め今後計画していく考えである。

(質問)

学校給食はいつからどのような方法で実施するのか

(市長)

基本的には全校を考えている。給食施設については、センター方式か自校方式か検討し、一日も早く実現するよう取り組む。

(質問)

魚価安定基金の内容について問う

(市長)

清水サバやメジカが不漁のため、需要に応じられない状況になっている。基金の内容としては、例えば、

清水は清水サバ、下ノ加江はメジカといったように特化した魚種に絞って一定の最低制限額を割った時に補てんする制度を目指している。なお、この財源としては、土佐食の配当金なども考えながら取り組んでいきたい。

(質問)

新市場を核とした流通・販売の強化策をどのように実施するのか

(市長)

新しい市場を核として、魚の鮮度を高め付加価値を作っていく。販売先については、量販店など大量消費、低価格で販売するようなマーケットを目指すのではなく、料亭など付加価値を付けた料理を提供

するところを目指して取り組みを強めていかなければならない。

(質問)

観光アドバイザーの活用で観光産業を復興することを公約としているが、観光アドバイザーとはどのようなことを行うのか。また、そういった成功事例があれば示せ

(市長)

県も観光アドバイザーを活用しているが、滞在型・着地型といった市内での滞在時間を長くするような取り組みを行ううえで、体験メニューの作成や各施設の連携など、これまでの発想に無いようなアドバイスを受けながら新しい観光を模索していく、そういったことをイメージして公約に掲げた。

これら取り組みの成功事例について、具体的にどこかという説明はできないが、新しい考えやノウハウを持った専門家のアドバイスを受けて新しいメニューを開発していく考えである。

気になる用語

給食センター方式… 共同調理場方式とも言い、複数の学校給食を一括して調理し、給食時間までに配送する方式。

自校方式… 学校内の調理場で調理する方式。調理から喫食までの時間・距離が短く、生徒が調理過程に接することが可能。



水揚げされた清水サバ

1 市長公約について

(質問)

住民基本条例の制定については、過去にも質問があったところであり、公約は『住民基本条例「土佐清水ビジョン」の制定』となっているが、その構想について問う

(市長)

住民が主体となった自治体の仕組みづくりのルールを定めるものであり、本市の憲法とも言える本条例は、市民全体の意識づくり、意見集約、そのあり方についても重要なものであると考えており、成功に向け市民の力を結集したい。

(質問)

先日、総務文教常任委員会は3日間にわたり地域の避難道の整備状況について現地調査を行った。

この際、気づいたこととして避難道は、その整備と併せ、手すりや誘導灯がセットとなった対策が有効であると考えられるがどうか

(市長)

自主防災会連絡協議会などからも同様の指摘を受けており、少ない予算で有効的な設置の方法について検討する。

(質問)

農業振興については、集落営農組織の確立が本市の農業にとって最大のポイントになる。

今後、どのように取り組むのか

(市長)

集落営農の推進については課を挙げて取り組んでおり、平ノ段では6月に組織が誕生し、ふぁー夢宗呂川も年明けには法人化する予定である。

また、集落営農塾も間もなく開校し、各地域での組織化の動きも出てきているため、その後押しを行っていく。

(質問)

学校給食については、過去に西村市政、杉村市政も実施について公約としてきたところであり、連続3代の市長の公約は極めて重い問題である。

しかし、この実現にあたっては数多くの問題がある。

その一つが学校給食検討委員会の報告であった、希望する保護者が多いのに対し、希望する子どもたちが大変少ないこと。

また、給食費の未納が全国的に問題となっているほか、最近は、アレルギー体質の子どもへの対応、誤嚥による死亡例など、不安材料が少なくない。

さらには、莫大な建設費用に加え、事業開始後の毎年の予算が数千万円以上かかる実態もあると聞く。

これらの問題にどのように対応するか

(市長)

リスク軽減策について整理しながら、任期中には道筋をつけるべく強い決意で取り組んでいく。



ふぁー夢宗呂川



旭町避難道

1 市長が所信表明で述べられた、市民が安心して暮らしていける土佐清水市づくりについて、市長の政治姿勢を問う

(質問)

耕作放棄地の拡大や山林資源の放置、定置網など漁業の衰退、高齢化の進行など地域や市民の暮らしの現状について、どのように認識しているか

(市長)

農業については、高齢化が進む中、農家数の減少や担い手不足が深刻化している。

林業においても、外国産木材のありを受け、価格の低迷が続いている。

漁業についても、漁獲量や魚価の低迷が恒常的傾向にあり、伝統産業である宗田節加工業の衰退など、

土佐清水市の一次産業を取り巻く状況は大変厳しくなっていると感じている。

(質問)

幡多地域における一次産業などの雇用実態を見ると、この45年間で約3万7,000人の雇用が失われている。

また、土佐清水市の農家戸数は、この25年間で1,041戸減少しており、漁獲高も14年前と比較して10億2,755万円減少している。

このような地域の現状を作り出したのは、国を支える根幹である一次産業を無視した利益第一主義の貿易自由化の拡大や地域経済を守るためのルールが大きく緩和されたことに根本原因があると思うが、所見を問う

(市長)

農業は、これといった主要特産物が無く、輸入品の増加などにより市内農産物の価格が低迷している。

漁業は、漁獲高の低迷、特に魚価の低迷が著しかった。観光業は、オイルショックなどを

経て、バブルの崩壊、長引く景気の低迷により観光客の減少が続いている。

とりわけ観光産業が地域経済に与える影響は非常に大きかったと思う。

さらに、国・県など官公署の出先機関の廃止・縮小や企業の合理化による撤退、地元事業所の減少に伴う雇用機会の喪失など、地元で就職したい若者層が希望する職種が少ないことなどが本市の現状を作り出している原因として挙げられると考える。

(質問)

地方の限られた予算内でのやり繰りでは根本的な問題解決には繋がらない。一次産業を国づくりの基本に据える政治の転換について市長会等を通じて国に働きかけをべき

(市長)

地方から政治を変えろという気概を持って市政運営に取り組んでいきたい。

気になる用語

耕作放棄地… 農作物が1年以上作付けされず、農家が数年の内に作付けする予定が無い田畑、果樹園。

貿易自由化… 関税や輸入数量制限などの非関税障壁を緩和・撤廃し、貿易面での国際間の交流を自由にする事。



宗田節工場働く人たち

1 財政見通し

(質問)

「国家公務員の給与の改定及び臨時特例に関する法律」による本市の対応として、今回、市長所信表明の中で職員の給与カットの方向性が示され、削減額や実施時期などは労使合意を基本とした判断を行うとのことであるが、職員組合に提示した削減額(平均の削減率)と実施時期を具体的に示せ

(答弁)

給与は平均減額率4.6%、期末勤勉手当は一律3.6%の減額であり、実施期間は本年8月から来年3月31日までとしており、削減総額は約5,000万円となる。

※この一般質問が行われた後日、市長と職員組合との交渉の結果、給与平均減額率は4.3%、期末勤勉手当は現状のまままで削減しない、削減総額は約4,000万円とすることで妥結された。

(質問)

改正消費税法では、税率を平成26年4月1日に現行の5%から8%へ引き上げ、さらに平成27年10月1日以降に10%に引き上げるとしているが、このことにより本市財政にどのような影響があるか

(答弁)

消費税率のアップに伴い、歳入面で地方消費税交付金が増額となるが、歳出面でも物価の上昇が見込まれるため、必ずしもプラスに働くとは言えない。

(質問)

本市が抱える借金総額は146億円余りとなっているが、財政健全化法に基づく財政指標の将来推計は基準を上回る心配はないか

(答弁)

防災対策事業を想定したうえで将来推計した場合、平成28年度がピークとなり大変厳しい財政状況が予想されるが、事業実施にあたっては有利な起債を活用するなど公債費の抑制に努める。

(質問)

本市におけるプライマリーバランスはどのような状態なのか

(答弁)

平成24年度は約10億円の赤字で、本年度も約4億円の赤字となることを想定しており、大変厳しい状況である。

(質問)

厳しい財政環境の中、市長は所信表明において「市民に不安を与えることのない市政運営を心掛けていく」と述べられたが、具体的にはどのように対応していくのか

(答弁)

バランスシートから読み取っても非常に厳しい財政状況であり、そのことを率直に受け止めながら起債発行額の抑制に努めていきたい。

気になる用語

公債費…自治体が借り入れた地方債の元利償還に要する経費のこと。つまり、自治体の借金の返済にかかるお金。

プライマリーバランス…政府会計において、過去の債務に関わる元利払い以外の支出と、公債発行などを除いた収入との収支のこと。



土佐清水市役所庁舎

予算決算常任委員会

平成25年度土佐清水市一般会計

補正予算(第2号)について

新保育園舎新築設計委託料について

契約に至るまでの方法や手順については、指名型プロポーザル方式により行っており、現在、指名業者12社のうち、7社から提案していただけた意思確認ができています。その7社の中で、市内業者は1社となっている。

今後、プレゼンテーションを含めた一次審査、二次審査を行い、一番点数の高い業者と最終確認作業を行ったうえで、委託契約を締結したいとのことであります。

これに対し、市内業者が1社というのはさびしいが、設計の段階から市内産材の導入を図れるような形で、できる限り地元の業者を活かせる方法を考えるよう要請しました。

ブロック塀等耐震対策推進費補助金について

ブロック塀の除去補助金について、1件につき20万円が限度額で、個人からの申請を南海地震対策係が窓口となり受け付ける。ブロック塀の除去のみならず、除去した後にフェンス等を設置した場合でも補助を行うが、石垣については対象外となる。また、申請が増えた場合でも継続して実施していきたいとのこと。

補助の対象となる廃屋かどうかの判断基準については、木材等の腐朽度に点数を付けて総合点で判断することであります。

議会報告会を開催しました

今回の議会報告会は4月15日～5月8日の間に、議員が4つの班にわかれて市内6ヶ所の会場で開催しました。この中で、3月定例会で議決された議案などを説明するとともに参加された皆様と意見交換を行い、議会や市政に関することのほか、地域の現状や課題など、さまざまなお声を聞かせていただきました。

多くの皆様にご参加いただき、感謝申し上げますとともに、今回の議会報告会の結果や報告会の中で議会として取り上げるべきものとした事項について議会の所管委員会等で協議しましたので、報告させていただきます。(紙面の都合上、全てのご意見・ご提言は掲載できないことをご了承ください。)

なお、皆様からの貴重な意見や提言は、議会としても所管の委員会で調査を行うなど、今後の議会活動に生かしてまいりたいと考えております。

執行部に回答を求めたもの

区分

意見・要望・質問等

執行部からの回答

太陽光発電

中浜、太田太陽光発電施設の設置・運用時期は。

中浜地区の設置は、平成26年7月末、運用時期は平成26年8月の予定です。太田地区の設置は、平成26年3月末、運用時期は平成26年4月の予定です。

太陽光発電事業について、塩害対策は万全か。計画どおり売電できるのか。

パネル(モジュール)本体は、アルミ製であり表面は強化ガラスの製品です。また、パネルの土台となる部分は、亜鉛どぶづけやアルミを計画しております。パワーコンディショナーや電気室(キュービクル)も重耐塩性のものを使用するため塩害対策は万全です。また、売電時期は太田地区が平成26年4月、中浜地区が平成26年8月の予定です。現在設置に係る設計委託を行っていますが、現時点では予定通り売電できる見込みです。

太陽光発電について、四電が買取しない地区がある。土佐清水市の太陽光発電事業は大丈夫か。

既に平成25年3月に四国電力中村支店に「発電設備の電力系統への連系及びアンシラリーサービス契約の申込み」を行い、太田地区・中浜地区について売電価格40円(税別)が確保されています。今後、工事が始まり、四国電力に高圧申込書を提出し、電力系統に必要な負担金(四国電力配電線への接続)を支払えば手続きは全て終了します。

太田の太陽光発電の日照量は大丈夫か。

現時点では、午後4時以降に西側の山の影響で陰になることが想定されています。今回の太陽光発電設置に係る設計委託の中で日射量を測定し、用地の中で一番良い設置場所にパネル(モジュール)を設置し、少しでも多くの発電ができるよう進めます。

区分

意見・要望・質問等

執行部からの回答

太陽光発電

個人で太陽光発電を設置した場合に補助金はあるのか。

平成24年度より「土佐清水市太陽光発電システム設置促進事業補助金」を予算化しています。予算額は120万円で、市内業者が施工した場合1kw当たり3万5千円(上限14万円)、市外の業者が施工した場合1kw当たり3万円(上限12万円)の補助制度です。本年度も、市広報5月号のほか5月1日からは市ホームページに掲載し、補助申請者募集のお知らせを行っています。

黒潮町等と比べ避難道等の整備が遅れている。避難場所についても見直しを行い、もっと早く整備してほしい。

津波避難計画ワークショップなど各地区での聴取等を実施しており、計画的にスピード感を持って取り組んでまいります。

市庁舎、清水小の耐震調査を行っているが津波対策を想定すべきだ。

想定される津波浸水深は市庁舎は3.5m、清水小学校は1.6mである。市庁舎は災害発生後に機能を維持できるよう機器類を上階へ移設することなどを検討してまいります。清水小学校については、現校舎の敷地を盛土し高上げたうえでの建て替えを検討しています。

防

南海地震の備蓄食料はあるか。粉ミルク等も必要と思うが、その状況は。

備蓄食料の配備は平成23年度から実施し、現在9510食(H23:1200食、H24:8310食)を確保しており、今後も継続(H25予定:4100食)していく予定です。ただし、今年5月に県が発表した被害想定ではこれまでの想定を大幅に上回る避難者数(8600人→14000人)となっており、今年度、県と市町村で備蓄に関する検討会を開き、今後の県と市町村の備蓄方針について協議する予定です。また、粉ミルクなどを含む備蓄品目についても、その検討会の中で協議・検討していきます。

災

大岐避難タワーの建設内容は。

地盤高1.6m(予定地の最大浸水深1.2mに対し4mの余裕高)の鉄筋コンクリート製で、収容人数300人を予定しています。

地震対策課を別部屋に作るよう要望していたが、どうなっているか。

防災担当課の設置については、人員体制や設置場所も含めて現在協議・検討中です。

防災行政無線が聞き取りにくい。見直してほしい。

聞き取りにくい箇所については、現地での聴取確認を行い、保守業者による年1回の総点検時に屋外子局(スピーカー)の調整等を実施していますが、完全解消は難しい状況です。なお、どうしても聞こえない状況であれば、戸別受信機の設置も検討いたします。また、今後(計画時期は未定)の防災行政無線のデジタル化に伴う設備一新により、より伝わりやすいものとなる予定です。

自主防災組織の全体協議会を行うべきだ。

市内の自主防災組織の全体協議の場としては、連絡協議会があり昨年11月に設立総会を行った。また、幡多6市町村の自主防災連絡協議会にも昨年11月に加盟しております。なお、今年6月21日にも総会を開催しており、自主防災組織活動のより一層の連携・活性化を図ってまいります。

産業振興

日照りが1週間続くと川が干上がって水田に水を供給できない。池を作るかポンプアップをしてほしい。

現在、当該箇所においては、小規模基盤整備事業の湧水対策事業補助金で対応していただいている。ため池やポンプアップ施設については、補助事業や用地・施設管理など問題点が多くあり、早期の解決は難しい現状であります。

清水漁協が改築され、きれいになった。サンゴ漁中心なので、こんなきれいな施設は不必要。

清水市場の老朽化に伴い、平成23・24年度の2ヶ年をかけ新清水市場が完成しました。現在、新清水市場の整備を契機に効率的な市場運営体制の確立、鮮魚の品質・衛生管理の向上により、土佐清水ブランドの確立を図るため検討会で協議を行っています。この新市場の活用を図ることにより付加価値を高め、魚価の向上に取り組んでまいりますので、ご協力、ご理解をお願いします。

中学校統合

市内5校統合により清水中学校が完成したが、旧清水中学校はどうなるのか。有効利用方法は。

旧校舎は7月中旬以降に解体予定で格技館、相撲場、体育館は残し社会体育施設として使用することとしている。なお、旧校舎解体跡地は駐車場としての活用を予定しています。

スクールバスが7路線運行とのことだが、委託先はどこか、公平に選定しているか

下ノ加江方面2路線については足摺交通、足摺～清水路線は西南交通、三崎方面2路線及び下川口2路線は竜串見残し観光に委託している。



区分

意見・要望・質問等

執行部からの回答

道路整備

下ノ加江、布間の旧道を整備していただきたい。

この市道下ノ加江布線の整備については、平成13年の西南豪雨災害や下ノ加江中学校と布中学校統合の時期より地元区長や保護者等から改良要望があり、平成16年度には要望のあった待避所3箇所を設置しておりますし、平成20年度には桃の木谷の危険な箇所にガードレール2.3mを施工しています。それ以降、平成21年度及び平成22年度に道路幅員が狭隘で危険な箇所(深谷)を改良するべく予算を計上していましたが、切り図上の地権者と現地が一致せず用地買収が不可能となり改良工事を断念しました。なお、昨年度は、下ノ加江地区からの要望で舗装等の修繕を実施しています。市道の全線改良計画については、地権者と現地が一致しない部分や地権者不明等があり非常に厳しいと考えています。しかしながら、地元から部分的な改良区間について、地権者が確定でき、用地買収の協力がいただければ予算を計上し実施していく方向で考えてます。

狩津の東の四国の道の整備を3、4年前から要望しているが予算が無いとして対応してくれない。

四国の道は、県からの委託事業で管理を行っているが、県の予算が以前より少なくなってきたため対応できていない。市としても県に要望しているが、なかなか難しい現状である。指摘のあった道をお遍路さんが通らないよう、四国の道の変更についてお願いしている。本年度、新たに草刈1回分の予算を増額し、未舗装部分の草刈を実施する予定です。

漏水の原因究明を。市民に漏水について啓発を。

漏水の原因の殆どが水道管の老朽化により劣化し亀裂が入るもので、対応策として漏水調査を行い漏水修理を行うほか、設置年度の古い耐震性の無い塩ビの水道管を耐震性のある铸铁管やポリエチレン管に布設替えを行っております。漏水についての啓発は、年に2回市広報誌に「漏水を見つけたら水道課に連絡」「漏水の見つけ方」等の記事を掲載しています。

三次都市計は加久見までの道路建設だったと思うが、現在の計画は。

平成2年の事業開始当初は、以布利谷加久見線(幅員3.2m)を主要幹線道路として計画していましたが、平成19年度の事業計画変更(第4回)で大通線(幅員1.6~3.2m)と以布利谷よりボーリング場跡地進入路付近までの道路に計画変更しています。しかしながら、東日本大震災以降、市街地の津波予測高が国、県から示されたことで現在は、都市計画道路としてではなく国道321号のバイパスとして事業化していただけるよう県に要望しています(現時点では、事業化の決定には至っておりません)。

その他

市役所で高齢者がどこに相談していいのかわかっているのを見かける。1階フロアに「アシスタントパーサー」が居れば助かる。議会から対応してほしい。

市役所では担当課が分からない方の案内や担当者への取り次ぎなどに対応するため、正面玄関に入ってすぐ左側に受付を設置し、担当者を1名配置しています。困った方を見かければ声をかけるように指導していますが、お気軽に受付まで声をかけていただければと思います。また、案内等のため受付担当者が席を外している場合は、職員誰でも結構です。声をかけていただければと思います。なお、受付案内業務も含め、窓口業務のあり方について協議・検討しているところですので、今後さらに利便性が向上するよう努めていきたいと考えています。

保育園の統合後、職員の仕事場の確保は問題ないか。

現時点での予想園児数を基に保育士数を換算すると、統合した場合は3名程度の減員が予想されますが、退職者もいることから特に問題ないと考えております。

地域移動支援事業について、日祝祭日の運行計画が無いのであれば事業をやっても意味がない。

今年10月から予定しています地域内移動システムのテスト運行(実証運行)につきましては、現在運行している路線バスの一部を廃止し、下ノ加江、三崎、下川口において区域運行(デマンド交通)を導入いたします。その運行日は、現在の竜串見残観光ハイヤー(有)の運行する路線バスと同様に日曜・祝祭日を除く月曜日から土曜日までを予定しています。ご利用は事前に電話での予約(デマンド)が必要となりますが、路線バスとは違い運行車両の入れる範囲内で自宅(もしくは自宅付近)までお迎えに行き、公共施設や医療機関等で降りられるなど高齢者にとって利便性を高めた制度となっています。テスト運行を開始すれば、様々な課題や問題点が出てくると想定していますが、ダイヤや運行形態等を柔軟に変更するなど可能な限り利用者の意見を反映できるよう留意することで、より良い移動システムにしたいと考えていますのでご理解をお願いします。

ジョン万について、小中学生にその生き方ジョン万スピリットを教えるかどうか。市内の盛り上がりが少ないように思う。

本年度に策定した「土佐清水市教育振興基本計画」の基本理念は「ふるさとを愛し、ジョン万スピリットを持った心豊かな人づくり」としている。教育に関するあらゆる計画の基本となっており、その都度ジョン万スピリット及びジョン万の生き方について教えています。

納税協力員に手当はあるのか。滞納処理対策の強化をしてほしい。

市税や国保税で徴収した納付書1枚当たり100円の報酬を支給しています。滞納処理対策としては、平成19年度から平成24年度までに地方税等強制徴収公債権で686件の差押えを行っており、今後においても「公正・公平を確保すること」「合理化・能率化を図ること」を原則に市債権の滞納処分・強制執行の強化を行います。

区分	意見・要望・質問等	執行部からの回答
その他	生活保護基準は何か。保護受給者が贅沢しているように見える。	保護認定については、厚生労働大臣が定める基準で計算される最低生活費と申請世帯の収入等を比較して収入が最低生活費に満たない場合に保護が適用され、その差額が保護費として支給されます。
	ヘルパーに生活支援をお願いしようと思うが、どこへ相談したら良いのか。	ヘルパーの生活支援を含め、高齢者の暮らしに関する様々な相談は、土佐清水市地域包括支援センター（汐見町1-19 ☎83-0233）で対応しています。ヘルパーの生活支援には、介護保険の要支援・要介護認定を受けられた方、それ以外の方、障害のある方など様々な状況があります。地域包括支援センターでは、専門の職員が適切な福祉サービスや関係機関にお繋ぎしていますので、お気軽にご相談ください。

執行部に報告したもの

区分	意見・要望・質問等
太陽光発電防	●太田、中浜太陽光発電施設は立地条件が違う日照量等慎重に検討されたのか、採算性はあるのか。 ●中学生に対する避難訓練について、十分な教育を望む。 ●避難場所への道路が木でふさがっていて避難できない。 ●津波標識が間違っていて記されている。
道路整備環境	●新清水中学校通学路である東谷グリーンハイツ線拡幅工事の期間を住民に周知してほしい。 ●粗大ごみの説明に来ますと言いながら、説明もなく粗大ごみ有料化が実施された。 ●有料の粗大ゴミ収集は良いが、不法投棄が増えないよう監視を強化すること。
鳥獣対策	●イノシシ、サル、シカが非常に多い。特にサルの被害は深刻な問題である。駆除するのに誰（鉄砲所持者）でも駆除できるようにならないか。
その他	●盗犯予防の啓発活動について。市内で窃盗事件が多発していると聞くと、盗犯予防の啓発をしてほしい。 ●NHK「あさイチ、土佐清水の七不思議一年に二度の奇跡・絶景」の再放送をお願いしたい。全国ネットでもあるジョン万の活動PRに効果的と思われる。 ●機構改革での窓口が非常に分かりにくい。観光、水産、商工、農林に区切って対応できる課に戻すべきだ。 ●給食については、子どもの数が減少する中、多大な予算執行をすることは無駄と考える。弁当で十分対応できるはず。 ●市職員もこのような報告会を行うべきだ。 ●1家族一人ひとりに市から通知が来るが、各部署で連携をとり一本化できないか。 ●ジョン万の大河ドラマ実現のために、署名活動の回覧板が回ってきたが、署名の仕方が分かりにくい。 ●中村～清水間の道路改良をしないと清水の発展は望めない。 ●賃金格差是正が必要。

議会として取り上げるべきものとした事項について議会の所管委員会等で協議したもの

区分	意見・要望・質問等	議会の所管委員会等で協議した結果
議会対応	議員定数削減議案は、若い人が次の市議選に出馬の準備ができるよう、少なくとも市議会議員選挙の1年前の9月議会で結論を。 議員の数について、増やすべきだ。削減賛成だ。歳費を削り数は増やすべきだ。 議員定数について、選挙までに結論は出るのか。 議員定数は削減すべきだ。 議員の削減は意味がない反対に増やすべきだ。 議員の歳費を削減し議員を増やすべきだ。 議員報酬・定数問題は、審議会を立ち上げて諮問してはどうか。	議員定数の削減については、土佐清水市議会基本条例第16条の規定に基づき市政の現状等を考慮することや市民の意見を反映することに加え、議員間相互の意見集約のため全員協議会を開催するなど慎重な協議検討を行ったうえで議会として結論を出したいと考えています。
	議会報告会の参加人数が少ない。もっと人集めに工夫を。	多くの皆様に参加していただくために、より積極的に参加の呼びかけ等を行っていきたくと考えています。
	インターネット中継の画像を鮮明に	6月定例会よりビデオカメラ1台を導入し、執行部側を映す画像については若干改善が図られたと考えますが、予算面を考慮しながらさらに改善できる方法について研究したいと考えています。
	TPP参加については反対。	議会としては、平成22年12月定例会において「TPP交渉に反対する意見書」について可決し国の関係省庁等へ提出しています。
	当初予算108億円について、もっと詳しく報告を。例えば、報告会会場地域に関する報告があればと思う。	議会報告会での説明については、市民の皆様が分かりやすいような形で説明するよう努めていきます。

4月 1日	議会報告会代表者会	6月 7日	総務文教常任委員会
10日	第122回高知県市議会議長会 定期総会(高知市)	10日	総務文教常任委員会
15日	議会報告会(中央公民館)	12日	総務文教常任委員会
16日	議会運営委員会・ 議会だより編集委員会	13日	産業厚生常任委員会
17日	議会報告会(グリーンハイツ会館)	14日	議会運営委員会
18日	議会報告会(上野区長場)	18日	総務文教常任委員会
22日	総務文教常任委員会	24日	議会運営委員会
24日	第75回四国市議会議長会定期総会 (高松市)	25日	6月定例会開会
25日	議会報告会(宗呂下区長場)	7月 1日	本議会(一般質問)
26日	議会報告会 (布地区防災拠点センター)	2日	本議会(一般質問)
5月 8日	議会報告会(越連合区長場)	3日	本議会(一般質問)
9日	産業厚生常任委員会	4日	予算決算常任委員会
14日	総務文教常任委員会	5日	総務文教常任委員会
17日	第24回四国西南サミット(宿毛市)	8日	産業厚生常任委員会
22日	第89回全国市議会議長会定期総会 (東京都)	9日	議会運営委員会
27日	四国西南地域道路整備 促進協議会総会(愛南町)	11日	総務文教常任委員会・ 議会運営委員会
31日	議会報告会代表者会		6月定例会閉会

編集後記

泥谷市政発足後、最初の議会となった6月定例会の一般質問は、選挙公約を中心とした質問戦が展開されました。

その中で、泥谷市長自らが語っておいりましたように、それぞれの公約を一つひとつ誠実に着実に実行していくことが大切であろうと思います。

とりわけ、地震津波対策関連事業や農林・水産・観光など基幹産業の浮揚策、少子高齢化への対応、教育問題等は喫緊の課題であるとともに市民生活に必要な不可欠な問題であります。

これら課題の解決に向け、執行部はもとより、議会に課せられたその責任の重大さは、論を俟たないところであります。

毎年のように「今年ほど暑い夏はない」と言いながら、彼岸まであと少しとなりました。

皆様におかれましては、どうか暑さに負けずご自愛のうえ、お過ごしください。

皆様のご健勝、ご多幸を心よりお祈りいたします。

委員長 武藤 清

市議会を 傍聴してみませんか

開催日程など詳細は、事前に議会事務局(☎(82)1112)まで

お問い合わせください。

○次回の開会予定は9月上旬です。日程が決まり次第、防災行政無線でお知らせいたします。

定例会の一般質問など会議での発言を記録した「会議録」を作成していますので、詳しい内容については会議録をご覧ください。会議録の製本は次期定例会頃となります。

どなたでも閲覧できますので、市民図書館・議会事務局へおこしください。

土佐清水市議会だより

編集委員会

武藤 清

森 一美

矢野川周平

岡林 喜男

岡崎 宣男

橋本 敏男